

## 平成4年（1992年）

TOP — 国立大学協会の情報 — 事業 — 総会・理事会 — 平成4年（1992年）

▼各年代を選んで下さい

月日	国大協の動き	月日	一般事項
1月	「大学における教員養成— 教員養成の現状と将来—」 刊行	1月24日	科学技術会議、「新世紀に向け てとるべき科学技術の総合的 基本方策について」答申
1月22日	外国学長招致事業により、 韓国大学長来日（～31 日）		
2月12日	「大学における組織運営の 活性化に関する検討項目」 について、大学審議会組織 運営部会で、意見陳述	2月28日	官房長官、「国家公務員への多 様な大学等の出身者からの採 用について」閣議で発言
3月11日	「国立大学財政基盤の現状 と改善」刊行	3月6日	社会人技術者の再教育推進の ための調査研究協力者会議、 「リフレッシュ教育推進のた めに」報告
4月8日	会長・第5常置委員長等、 第2回アジア太平洋大学交 流機構（UMAP）総会（韓 国）に出席	4月1日	第八次定員削減開始（削減数 4,093人）
		4月15日	文部省海外留学等斡旋プログ ラムに関する調査研究協力者 会議、「海外留学等斡旋プログ ラムの望ましい内容等につい て」報告

5月11日	第2常置委員会、推薦入学に関する問題点等をまとめた「推薦入学について」作成	5月12日	生涯学習審議会、「中間まとめ」公表
6月9日	生涯学習特別委員長、「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興方策について（生涯学習審議会中間まとめ）」についてのヒアリングで意見陳述	6月15日	学術審議会、「21世紀を展望した科学技術の総合的推進方策について」（中間報告）をまとめる
6月16日 ～17日	<p>第90回総会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後援について（報告）</li> <li>〔[1]シンポジウム"21世紀の大学と日本の科学技術を考える"（産経新聞社主催）、[2]全日本留学生代表者フォーラム名古屋（（財）名古屋国際センター主催）、[2]IAUP（世界大学総長協会）第10回年次大会（同大会日本委員会主催）〕</li> <li>・大学入試センターからの報告</li> <li>・当面する諸問題（18歳人口の減少に伴う取り組みや大学における教育の質の問題、週休2日制と図書館などについて）</li> <li>・その他（[1]週休2日制の実施、[2]教官の待遇改善等について）</li> </ul>		
6月24日	入試に関する問題について、全国高等学校長協会と懇談		
7月6日	「21世紀を展望した科学技術の総合的推進方策について（学術審議会中間報告）」について、意見提出	7月1日	国立学校財務センター発足
7月8日	「国立大学教官等の待遇改善に関する要望書」を文部大臣、人事院総裁へ提出		

7月16日	第1常置委員長、教育上の例外措置に関する調査研究協力者会議に出席し意見陳述		
7月19日	第5常置委員会所属大学長等UMAP試行計画に基づき、豪州12大学を訪問（～8月1日）	7月23日	学術審議会、「21世紀を展望した学術研究の総合的推進方策について」答申
7月29日	生涯学習審議会の、「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興方策について」について意見陳述	7月29日	生涯学習審議会の、「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興方策について」を答申
10月7日	「人事院勧告の取扱いに関する要望書」を文部・大蔵各省、総務庁へ提出		
11月11日 ～12日	第91回総会開催 ・入試について ・当面の諸問題（大学設置基準の改正に伴う大学の対応、教育研究環境の改善、入試制度の検討などについて）		
12月4日	「国立大学の学生納付金の改定について（要望）」を文部・大蔵各大臣、総務庁長官へ提出		
12月18日	平成5年度予算編成に関して文部省と懇談		
12月24日	全豪州大学長協会と日豪学術交流協定締結		